



おばあちゃん
からの
ひとこと
小さいころはカゼをひいて、よく病院へ連れて行ったものだが、このころは丈夫になりましたよ。体が大きいためか、やることがゆっくりでネエ。でも、気持ちがやさしいから……。—スギさん70歳—

おばあちゃん
その
語り



葛西大祐くん
(脳元小・4年)

今日の主な記事

- 農業問題懇談会開催……………2~3
- 安全就労誓い合う
出稼者組合総会……………4
- 青森EXPO'88
キャラバン隊来村……………4
- 好評夏の成人式……………5
- 歴史漫歩……………6
- おしらせ……………7
- 健康への道
戸籍の窓……………8

「心配そうなおばあちゃんの顔をみると」「よしっ、がんばるぞ」といっ、気持ちになりました。

おばあちゃんの楽しみといえば、老人生きがいセンターへ行くことです。センターに行けば、ながまがいくらからです。ながまといっしにねんを、茶わんや花びんなどを作っているのです。

さいしよのうちは、あまりじょうずだとは思いませんでしたが、このころは、だいじょうずになりました。じょうずにできたときのおばあちゃんは「三三三三」顔で、ぼくまでうれしくなっています。

お母さんが塾生着へはたらきに行っている、ぼくは生まれたときから、おばあちゃんの手で育てられました。

ほしくしよにも、毎日送りむかえをしてくれました。運動会や学園発表会にも、かならず見に来てくれます。走るのがおそいので、運動会はがてです。おばあちゃん「まげでも、さいごまでいっしょうけんめい走らんだよ。何んでも、さいごまでやることがんばらよ」と、心配して、はげましてくれました。

心配そうなおばあちゃんの顔をみると「よしっ、がんばるぞ」といっ、気持ちになりました。

おばあちゃん
の
楽しみ

有畜複合と

農業にシステム化を

本村の水稲・畑作・畜産を語り合い、総合的に農業を見つめてみよう」と、八月六日後、時三十分が、村基幹集落センターに関係者ら三十八人が出席して「農業問題懇談会」を開きました。

農業問題懇談会

このままでは食えなくなる 水稲・畑作・畜産 関係者が農業問題を語り合う



農業所得の向上をめざそう。と開かれた懇談会

本村の基幹作目である水稲は、長期間転作が実施され、特に今年は三十一年ぶりに米価の引下げが行われるなど、厳しい状況が続いています。懇談会は、こうした厳しい農業問題をそれぞれの立場で語り合い、市浦農業の方向付けをしよう」と、市浦村、村

農業委員会、村農業協同組合が共催したものです。懇談会では、村側から出席した工藤誠一郎助役が「農業の生産所得の増大を図るため、それぞれの立場で努力しているが、所得の減収要因も多く、農業情勢は想像以上に厳しい。本村の農業を考える場合、減収分をどのように補い、増やしていくか、それぞれの立場で真剣に考え、工夫しなければならぬ」と、農業委員会の小笠原金道会長は「この厳しい時期に何をすべきか、裸になって本音を語り合うことが大切だ。本村の一万一千町歩の土地は、農業に不ぞさわ

の者の責任で次へ引継いでゆかなければならない。一生懸命やれば農産は開けると思う……」と、市浦農協の葛西敬太郎組合長は「農業には、いま以上の明るい材料はない。農家が生きのびるためには、これまでの経験と知恵を出し合い、努力しなければならぬ。農業をとりまく諸問題を乗り越えるため、さらに連携を深めて農業所得の増大を図りたい」と、それぞれ代表のあいさつがありました。

このあと、水稲・畜産、畑作の部門別に、各担当者から経過とその現状についての説明がありました。

転作と米価引下げで 農業所得が 大幅減収

転作や米価の引下げにより、

昭和六十二年の水稲所得は、大きな減収が見込まれますが、平年作からみた、その内容は次のように試算されます。

本村の潜在作付面積(転作作付面積含む)の内訳をみると、転作面積での一般転作は百二十四・五haと、他用途利用米の生産面積の十六・一haと、合わせて百四十・六haとなつています。

一般転作のほかは、共済加入面積三百四十九・七haあるので、今年の潜在作付面積は四百七十四・二haとなります。

潜在作付面積に対する10a当たり四十三円三十三銭で試算すると、転作がない場合の水稲所得は三億二千四百四十一万六千円になります。一般転作や他用途米生産による助成、補助金、他用途利用米の減収分を含めると四億二千八百三十四千円の水稲収入となります。

また、本村における今年の限度敷金は二万三千俵。四類米の生産地域である本村では一俵当たり一千一百円の減額になりますので、米価の引下げによる減収額は二千六百二十万四千円となり、転作と米価引下げによる減収額を合わせると、六千九百三十八万八千円になる見込みです。

平年作で試算した場合、三億二千四百四十一万六千円になる水稲所得ですが、転作と米価引下げにより六千九百三十八万八千円の減収が見込まれることから、今年の水稲所得は約二億五千五百三十七万八千円になる見込みです。

また、今年の共済加入面積は三百四十九・七ha(他用途利用米生産面積含む)となつていますが、作付農家戸数は二百三十三戸であり、一戸平均作付面積は一・五一haと、平均耕作面積は増えつつあるものの、一戸当たりの水稲所得は約八十三万四千元にならない計算となり、基幹作目である水稲の厳しさがうかがえます。

昭和六十二年の水稲所得は、大きな減収が見込まれますが、平年作からみた、その内容は次のように試算されます。

本村の潜在作付面積(転作作付面積含む)の内訳をみると、転作面積での一般転作は百二十四・五haと、他用途利用米の生産面積の十六・一haと、合わせて百四十・六haとなつています。

一般転作のほかは、共済加入面積三百四十九・七haあるので、今年の潜在作付面積は四百七十四・二haとなります。

潜在作付面積に対する10a当たり四十三円三十三銭で試算すると、転作がない場合の水稲所得は

三億二千四百四十一万六千円になります。一般転作や他用途米生産による助成、補助金、他用途利用米の減収分を含めると四億二千八百三十四千円の水稲収入となります。

また、本村における今年の限度敷金は二万三千俵。四類米の生産地域である本村では一俵当たり一千一百円の減額になりますので、米価の引下げによる減収額は二千六百二十万四千円となり、転作と米価引下げによる減収額を合わせると、六千九百三十八万八千円になる見込みです。

平年作で試算した場合、三億二千四百四十一万六千円になる水稲所得ですが、転作と米価引下げにより六千九百三十八万八千円の減収が見込まれることから、今年の水稲所得は約二億五千五百三十七万八千円になる見込みです。

また、今年の共済加入面積は三百四十九・七ha(他用途利用米生産面積含む)となつていますが、作付農家戸数は二百三十三戸であり、一戸平均作付面積は一・五一haと、平均耕作面積は増えつつあるものの、一戸当たりの水稲所得は約八十三万四千元にならない計算となり、基幹作目である水稲の厳しさがうかがえます。

意見発表

生産基礎を確立し

生きのびる手だてを

市浦村農業委員会

会長 小笠原 金道



農地法が改正されて以来の農民は、将来に夢と希望を持って農業に従事し、日本国の復興に汗水を流してきました。

ゼロからの再出発であった工業もまた、そのほとんどがシステム化され、未来に向けてめまぐるしく進展してきました。

労働者の所得倍増論が叫ばれた時代に入ったが、私たちが農民も考えなければならぬ問題や解決しなければならぬ課題がたくさんあったにちがいない。そういいうことも忘れられてしまつてしまつた。

広報しらら

以来、すべてが金銭で物事が左右され、片付けられるような農業機構になつてしまつた。「自立経営農業だ」農業は一



頭数も増え有畜複合農業が期待される畜産業（市浦牛の放牧作業）

人立ちするんだ。そうならぬいと農業はダメになるんだと政府や行政サイドに後押しされたため、農民は自分の過去を振り返る余裕すらなく、機械化に走つたのである。それがやがては、反収増にも結びつき、農業のイメージも変わらうとした矢先に、米が余る時代となり、減反しなればならなくなつてきた。

反面工業は、優秀な技術力で新製品を開発し、輸出によって外貨の確保で私たちが農民にも恩恵が与えられてきたのである。工業がシステム化して成功したように、農業もシステム化する事によって、より多くの所得が可能となるはずだ。諸外国では、国家的な指導のもとに「集団農業」や「企業農業」を実施しており、これままでのような農業を続けていくのでは、私たちは生きのびてゆくことはできない。農業のシステム化を阻害しているのは土地の権利である。戦前から先祖が苦しみながら耕作してきた農地が入つた。その土地の権利を手離すことは、相当決断のいることである。しかし、新しい村おこしや、農業の先進地とい

われる市町村では、土地の権利を一定の組織の中に提供し、システム化した農業を進めている。市浦の場合も、そういうシステム化ができれば、総合農業としての発展が期待できると思う。

ニンニク、カボチャ・ハウスの

三本柱で畑作振興



転作や米価の引下げによる農業所得の減収が見込まれているが、これをカバーしなれる、市浦全体の農業収入は減る、一方である。

過去、畑作と畜産振興に努めてきたが、畜産は頭数が増えているが畜産農家戸数は減少傾向にあります。畜産、畑作、水稲を合わせても、実際の販売額は八億を切る現状であります。昭和六十二年度では、野菜で約二千五百万円、畜産では四億七千万円の収益になる見込みですが、貸付牛の制度など経費を見ると、畜産農家の

北部内には、五万三千町歩の耕地があるが、そのうち市浦には一万一千町歩の土地がある。この土地を市浦全体の力で動かすことによって、生産基礎も完成してはならないか。諸外国からどんな農

市浦村農業協同組合 経済課長 柏谷 肇

現在この畑作農家は約四十八戸、畜産農家は五十四戸ですが畑作と畜産を複合している農家は五戸よりなく、あとの畑作農家は、畜産農家に堆肥の供給を求めています。畑作振興には、堆肥は欠くことのないものであり、堆肥の作れる畜産農家が減少してくれば、市浦全体の畑作振興は不可能になります。有畜複合化で堆肥を生産し、畑作だけでなく、水田にも還元する必要がある。年々増えつつある畑作ですが、野菜は牛の価格以上に安

作物が入ってくるようになれば、いままでのような市浦の農業体制では、及びもつかないものと心配している。けれども、努力してより進むは無いと思う。努力してみよう価値はあるはずだ。

昨年からはハウス栽培を導入し、三十六棟のハウスになりました。ハウスではトマト中心の栽培ですが、少なくとも五、六百万円の収入を得たいところから、ニンニク、カボチャハウスの三本柱で畑作振興を図りたいと考えています。麦については今年度二千俵位で、九百万円、一千万円位で取りささげたいと思ひますが、麦を作付している畑を、ニンニクやカボチャなどに転換していかないと面積は増えませんが、麦を作っている農家に畑に堆肥を入れるようにしないと、転換時の土壌づくりに莫大な投資が必要となります。また、水稲や畑作においても、機械化による投資が大きすぎます。田植え、稲刈り、脱穀等、一部でも共同化を図れるような指導も含めて、コストの低減を図りたいと考えています。

相内地区出稼組合

地区出稼者が 安全就労誓い合う

名称改め再スタート

ぎ者が増え、役員らが不在になつてきたこともあり、単体団体としての組織運営が困難になつていきます。

全就労、留守家族の問題など年々厳しさも増してきていることから、一部出稼者からは、組合の再結成が要望されています。

新役員は次のとおりです。
会長 古川長光、副会長 岡本慶藏(相内)、佐藤元行(太田)、秋田谷一三(桂川)、事務局 長川口定雄、理事 秋田谷悟(桂川)、奈良孝一、武田勲、丸山正一(以上太田)、三和金春、佐藤弘文、三浦俊一、佐々木晃、葛西三四郎、成田正晴(以上相内)、監事 藤田道雄、奈良慶藏。

現在、脇元・磯谷・十三地区の出稼き組合が事業活動を続けていますが、相内・太田、桂川地区の出稼き組合は有名無実の状況になっていました。本村からは、年間約三百六十人の出稼き者がありますが、出稼き就労事業所の確保や安全

組合の結成は、相内・太田・桂川地区を含めて、相内地区出稼組合に、名称を改め、地区出稼き者の連絡調整を図り、出稼き者の福祉向上と社会的地位向上を目的としています。

相内地区出稼組合の結成総会が、八月十五日午前七時から市浦村役場会議室で開かれ、①会員の加入促進、②就労経路の正常化、③留守家族対策、④事故見舞金制度への加入促進、⑤出稼者検診の受診など、昭和六十二年度の事業計画、予算を決め、事故のない明るい出稼きを誓い合いました。



就労経路の正常化などを決めた出稼組合の設立総会

青函トンネル開通記念博覧会は、来る昭和六十二年七月九日から九月十八日までの七十二日間を会期として、青森観光物産館(アスパム)周辺で開催されますが、去る七月九日には、青森EXPO'88開催一年前を記念して、第一期前売券の発売を開始しました。

この日午後四時、村役場を訪れたキラパン隊のミス青函博の西村深雪さんが、「博覧会は、本県が21世紀に向かつて未来県として踏み出す第一歩であり、本県のイメージアップと経済の活性化、さらには県民の生活を高めるものですね。県民総意のもとに開催される「大イベント」として皆様のご理解と協力をお願いします」と、青函トンネル開通記念博覧会実行委員会会長青森県知事北村正哉のメッセージを読みあげ、三重村長に手渡しました。

このあとキラパン隊は、村内を巡回し、青森EXPO'88をPRしました。

青函トンネル開通記念博覧会 青森EXPO'88 キャラバン隊来村 村内を巡回PR



PRのため本村に訪れたミス青函博ら

キャラバン隊は、青森EXPO'88の知名度の向上と前売入場券の取売促進を図るため編成し、県内各市町村において青森EXPO'88のPRと、協力を求めています。

「語る」をテーマに 夏の成人式

35人が晴れの門出

軽装で決意新た

信頼を築きつづけての後継者に

二十一世紀に向けて真実の心を語りつづけるをテーマにした本村の成人式は、八月十四日午前十時から村コミ

ュニティセンターで行われ、三十五人が夫人の仲間入りをし、新成人の門出を祝い、

本村の成人式は、一月十五日の「成人の日」に実施して

になりました。夏型成人式になってからは

お盆休みや夏休み等で帰省するはたちも多く、新成人の服装も女性はやんぱり、男性はワイシャツ姿という軽装成人式がすっかり定着しました。式典では、葛西安十郎村教育長職務代理者が「未来に向



軽装で出席できると好評の夏型成人式

って若き情熱を燃やすことが青年の特長であるとなれば、厳しい順土の中で幾多の開発可能性を抱えて躍動しようとしているふるさと市浦の村は内なる情熱の燃焼若きのみならずに期待している」と式辞を述べた。

また、来賓を代表して三重県村長、青山又一村議会議長は「ひとつの節目として成人式を迎えたが、これまでの経験を生かして、二十一世紀に向けて何をすべきか考える必要がある。面視あつての自分の

存在に感謝し、常にテーマを持って努力して欲しい」と激励、お祝いのご言葉を述べた。

このあと、新成人一人一人に記念品が手渡され、新成人を代表して、中山卓二君が誓いのことばを述べた。

また、「この日は記念講演が行われ「明日のために、今」をテーマに、新岡千寛氏がスライドでアメリカへ渡った時の状況を説明しながら、その時々を実現するためには、その時々々のチャンスを生かすことが、人の心を思いやる人間、自分を持つことが大切だ。外国人と仲よくし、外国に目を向け学ぶことも必要だし、日本を知ってもらうことだ」とまとめました。

緊張感は自分への責任感

誓いのことば



新成人

中山卓二

周囲の人が認めてくれるだろう。世界どこへ行っても、自分の目で物を見ることができるだろうと、二十歳という社会のまきりに強いあこがれを持っていました。

私たちの心の中には、いまひとつの緊張と、大人としての広い目がまじり合っています。緊張は、自分への責任感です。広い目は、きのうまで親と、先生と、友人しか見ていなかった目には、あらたてて故郷の山河が映り、人間の様々な立場が少しずつ理解できるように思われてきたのです。

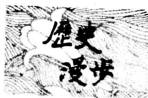
私たちは今日、待ちに待った大人の世界への第一歩である成人式を迎えました。二十歳。それは私たちにひとつの目標をたて、二十歳になれば、子供という親の保護や、社会の保護から解放されて、自分の意見や行動にも大人として

今日、私たちのためにこの村をつくり、育ててこられたたくさんの方々がお祝いしてくださってありがとうございます。新しい村づくりの私たちのよき後継者になることを約束し、誓いのことばとしました。

唐川城址

(5)

唐川城址



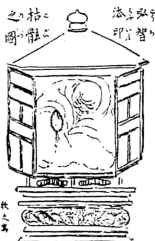
▶ 82 ◀

弘智法印修業の場

安倍安東氏が榮えていた中世時代には、この神仏混濁の聖域には名僧がたくさ



第1図 弘智法印即身仏堂新潟県寺泊町西生寺



第2図 弘智法印枯杖之図(「北越雪譜」)

んいたものと思われま

た。たとえば十三湊滅亡の時盛季公に随行した僧侶には永善坊とか実相坊とかの名が見えています。また、それ以前南北朝時代に訪れた弘智法印もそのひとりです。

弘智法印は現在新潟県三島郡寺泊町野積の西生寺にミイラとなって安置されて

山王坊に居住して修行を積んだと真澄の紀行に書かれています。岩坂の主は誰そと人間はば墨絵にかき松風の音」は、海雲山岩坂の岩に端坐し、木の実、草の

わが山王坊で修行を積んだことは十分考えられます。貞治二(一二六三)、去令六二五年前、北朝年号)年入寂しています。現千葉県匝路郡大浦村の生れだそうで、大浦の蓮花寺に住職したこともあり、わが蓮花庵の名称とも関連ありそうです。

案内者とユーマア

この山王坊をぬけて、案内者が高草を鎌でなぎ拂いながら春日内へと登って行きます。すると、時鳥が「カッコ、カッコ」と声高らかに啼きます。案内者が「六月であっても五月鳥子が叫ぶわ」と、峯をふり仰ぎながらいいます。杜鵑を当時の市浦の人びとは「五月鳥」と呼んでいたもの

そこで真澄が、冥途からホトギスが来て農耕をすすめたという故事のある「四手の田長」と、「五月鳥」との意味が通つていて興味をかきふなり、四手の田長をひかれ、「六月も五月鳥子が田草ひくらん」と、案内

者の言葉に継いで和歌を一首よみあげます。そのころ歌つたがどんなものですか」といとうと、案内者はその歌を口のうちにで読み返していたが、片腹を抱えつつ笑うこと限りなかったといふことです。こんなユーマアを解した案内者は、当村でも相当の学ある人であったことが想像されます。

円通大士を拝す

こんなユーマアを飛ばしながらとうとう春陽澤に到着します。木々のくらくさ中に入りて、毒よりほそく伝ふ嫩の滝で、手あらひ、口そきとして、手あらひ、案内者が龍興寺の滝水で身を清めさせたことが書かれています。

「夏の日のかけもりこぬ木々かかく茂る太山の滝の涼しさ」と一首を詠みます。案内者も一緒に手に滝水を両手で抱えて、「ああ、涼しいな」とノドをうすおします。そして、円通大士すなわち観世音菩薩の御前に額づくふたりでした。

津軽のことわざ

54


めの部

「食べ物食てたら馴動がせおしいものはまず劣して得よ」という意。
 「目異ア鼻異笑う。自分の至らぬことに気がつかないで、他人の欠点を馬鹿にすることのたとえ。
 「可愛い童子はだば眼ア入れでもいじぐネ。可愛らしくてたまらぬさま。
 「飯ア飯腹、餅ア餅腹、飯を食つて腹一杯になつたあてもなお餅は食える」とい意。
 「飯食つた後ど損したうには長く居るもんでない。すでに用は済んでいる」とい意。
 「飯食つて横になれば牛になる。不行儀のいさま。
 「飯前の煙草は三分の金持ちるより損だ。食前の煙草は無駄だ」とい意。
 「妙荷食は物忘れする。徳信目に入れてもいじくない。可愛いくてたまらぬこと。
 「娘の傍ど火の傍い。若い娘が一掃だと座が和み。夏でも炭火は風情のあるもの。目を三角にする。怒っているさま。
 「飯粒で鯛釣る。少ない元手で大きな利益を得ること。」

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



海上保安学校学生募集

海上保安庁では次の要領で海上保安大学校と海上保安学校の学生を募集しております。

1. 受験資格

- 昭和39年4月2日(大学校学生は昭和42年4月2日)以降に生まれた者で次に掲げるもの。
- (1) 高等学校を卒業した者及び昭和63年3月までに高等学校を卒業する見込みの者。
 - (2) 高等専門学校第3学年の課程を終了した者及び昭和63年3月までに高等専門学校の第3学年の課程を終了する見込みの者。
 - (3) その他大学入学資格検定に合格した者等人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者。

2. 採用予定数

大学校学生 約50名

水路 約10名

学校学生 灯台 約30名

通信 約15名

航海、機関、主計約70名

3. 試験日(第一次試験)

大学校 昭和62年11月7日(土)
昭和62年11月8日(日)

学校 昭和62年11月8日(日)

4. 試験地

青森市、秋田市、塩釜市、函館市など28箇所。

5. 受付期間

昭和62年9月11日(金)から昭和62年9月24日(木)まで郵送された申込書は、9月24日までの消印のあるものに限り受け付けます。

受付時間 9時～17時(土曜日は12時まで、日曜日、休日を除く)

6. 申込用紙請求先及び問い合わせ先

青森海上保安部
(〒037 青森市青柳一丁目1番2号 Ⅱ0177-34-2423)

出かせぎ者のみなさんへ

事故見舞金制度のあることを知っていますか!!

★どんな制度

出かせぎされる方が安心して就労できるよう就労先で事故にあったとき、または留守宅が火災にあったとき見舞金を給付する制度です。

★加入の手続き

本人のほか家族・グループリーダー、出稼者団体役員など、どなたでも手続きができます。受付は市浦村役場でを行っています。

★加入できるひと

1ヶ月以上1年未満居住地を離れて就労し、就労後は居住地に帰る人ならどなたでも加入できます。

★掛金

掛金は、年間1人600円です。

★見舞金

種別	給付額	事故・災害の程度
死亡見舞金	50万円	出稼中における死亡
	8万円	6ヶ月以上休業して治療を要するとき
傷病見舞金	6万円	3ヶ月以上6ヶ月未満休業して治療を要するとき
	5万円	1ヶ月以上3ヶ月未満休業して治療を要するとき
障害見舞金	20万円	障害により労働不能となったとき
火災見舞金	8万円	留守宅が半壊以上のとき
	3万円	就労先の宿舎が全焼したとき

道路側溝清掃

期日…6日(日)

- 早朝6時から道路付近に捨てられた空缶ひろいを行います。
- 午前8時30分から村内の側溝清掃を行います。
- 清掃区域は各町内会毎に設定(春の清掃と同じ)しましたのでご協力ください。

二種混合ワクチン

期日:11日(金) 予備18日(金)

場所:市浦診療所
時間:13:30~14:30
対象:小学6学年

ご協力ください。

相内地区の岩井ごみ処理場は毎週火曜日が休みです。
市浦村

善意

ありがとう

柏谷松さんはこのほど、去る四月二十日死去した父秀一さん(村教育長)の香典返しとして、三十万円を寄金しました。

村社会福祉協議会では「たすけあい資金」として、めぐまれない人たちのために役立つことにしています。



作業員

このほど取り付けた標識は、縦一五五、横六十センチ既製のコンクリート製電柱の五五の高さに設置。亜鉛メッキを施し、さびにくく、さらに強風にも耐えられるよう、取り付けています。

〔中の鳥アブリジパーク〕

「福島城跡展望台」唐川城跡・山王坊遺跡等、観光地の名前と方向、木橋、展望台、鳥居など、観光地に合ったイラストも入れ、わかりやすい観光客にも喜ばれています。

村内八ヶ所

観光案内板

安東文化ふるさとづくりをめぐす本村では、東北電力青森支店とNITT青森支社とタイアップして、村内八ヶ所に観光案内標識を設置しました。



がんの発生率を高める喫煙習慣

ます。肺がんとの原因はいろいろありますが、なかでも喫煙との関係については多くの報告があり、いま改めてはたばこが問題になっています。たばこが肺がんの関与は、喫煙量が多いほど、また、喫煙開始年齢が若いほど、がんの発生率が高まるといわれています。例えば、たばこを吸う人が肺がんで死亡する確率は、吸わない人の四・一倍(図参照)になるというデータがあります。また、一日五十本以上吸う人は、その確率が八・六倍に上がり、それ以上吸う人はさらに死亡率が高くなること

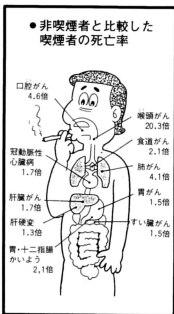
急増している肺がんの死亡率

がんは昭和五十六年以来、日本の病気になる死因「のトップ」を占めています。がんによる死亡の中で死亡率が最も高いのは胃がんで、その次が肺がんです。ところがここ数年、肺がんによる死亡率が急上昇してい

▶25◀

さまざまながんに影響を及ぼす喫煙

図でみられるように、喫煙は肺がんだけでなく、さまざまながんに影響を及ぼして



観光客にもやさしい心で



萬谷 ゆり子さん
(脳元・24歳)

本村には、福島城跡・唐川城跡・山王坊道跡など、数多くの史跡が残っていますが、特に山王坊道跡は、東北学院、東北学院大学の教授らの手によって、発掘調査が進められ、往時の状況が明らかとされつつあります。

十三浦や脳元・磯崎海岸では、しじみ貝を採る家族連れや、海水浴を楽しむ人々たちで賑わいを見せています。県においては来年、青函ト

がんの発生原因が十分明らかでなく、完全といえる治療方法がない現在、喫煙の習慣を改めることは重要な予防方法の一つといえるでしょう。また、がん検診による早期発見・早期治療は、最も有効な予防方法の一つですので、積極的に受診するようにしましょう。

窓の戸籍



お誕生

- 立花 治五郎
- 葛西 裕一
- 葛西 俊美
- 葛西 美英
- 小野 口久
- 小野 倉優
- 小野 けい子
- 石川 一男
- 葛西 秀一
- 大野 秀弘
- 豊島 菊江

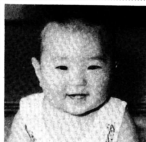
おくやみ

- 吉田 陽香
- 金澤 彩香
- 三上 淳
- 小田 美樹
- 吉田 相内 博史
- 山本 千代美
- 山田 和子
- 和田 長市
- 今本 専五郎
- 山田 千代美
- 山田 和子
- 吉田 長市



三和兵吾さん(相内)
長女 那津希ちゃん(10ヵ月)
マンガがだいすきなテレビ子。ときにはテレビマンガに拍手を送る那津希ちゃんです。

本津谷清蔵さん(脳元)
長男 将大ちゃん(9ヵ月)
ボクが生まれてから、お父さんの酒の量ふえたんだって♪うれいのかなア。娘♪うんだがナエ。



ご結婚